

平成28年度 事業報告書

大慈デイサービスセンター

1. 《法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」を基本方針として、要援護の高齢者がより自律的な生活を可能な限り自立して安らかに営むこと、社会的孤立感を解消すること、心身機能の維持、向上を図ることを目的として高齢者自身を援助することの他、介護する家族の身体的・精神的負担を軽減できるよう努力し、在宅での介護が中心となるデイサービスの利用者に対し、ケガ・事故の無い様に細心の注意を払い、より良い環境でのサービスを提供していく。

3. 《中・長期計画》

●最終目標 『ADLが向上するデイサービスの構築を目指す』

●中期計画

- ①経営理念やヴィジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができる。
- ②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質向上を図る。

4. 《部門別目標》

<ケア部門>

●目標 I ADL(手段的日常生活動作)を維持する事で在宅での生活を安心して送れる。

①選択サービスの提供方法の再検討を行い、種類の増加及び満足度の促進を図る。

A) 下膳や洗濯たたみなど、職員の手伝いをする事で役割を持っていただく。

食事の配膳や洗濯物畳みなど、作業的な項目は職員と行っており、手伝って下さるゲストは体調の安定が図れている。

B) 独自の運動(リハビリ体操・シルバー体操)で全身を動かす事により機能維持を図る。

前年度同様、タオル体操の効果は十分に考えられ、職員の講和を交えた『頭の体操』も認知症予防には一役を担っている。

C) 日常生活動作で過介助にならないよう、リスクを考慮した上で、残存機能を生かした介助を行う。

過介助にならない介助指導を行い、車椅子から利用を始められた方が、歩行して通うまでになった。過介助に対する意識付けも個別で指導を行った。

②充実したサービスの確立

A) 中重度用の手クリエーションのメニューの考案

『頭の体操』となるクイズ形式のレクリエーションを1年続けて行った。身体を動かすレクリエーションと並行して続けた結果、あまり声を出さないゲストが徐々に話し出すなど大きな変化が見られた。継続して認知機能の低下が見られる方については、学習療法を推奨している。

B) 自己決定の機会を作り、周囲とのコミュニケーションを図る。

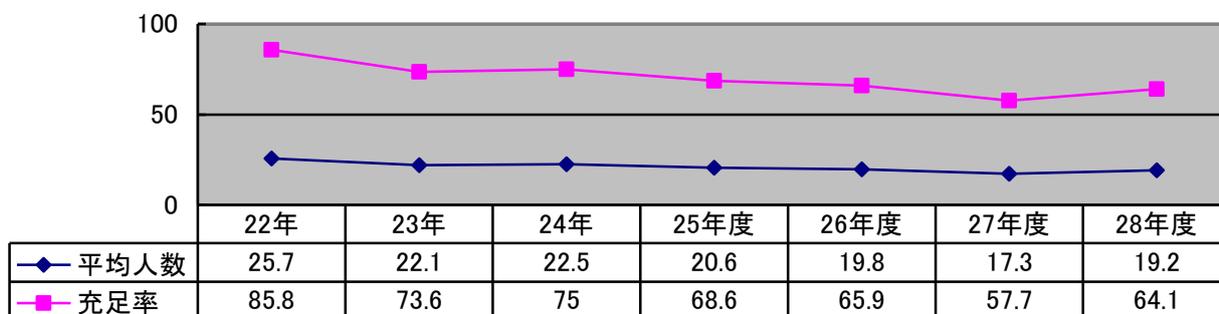
選択ボードにより、午後からの過ごし方を自身で考えて頂き、実行することに努めた。自身でしたいことが見付き、充実した過ごし方を選ぶことが出来た。

<経営部門>

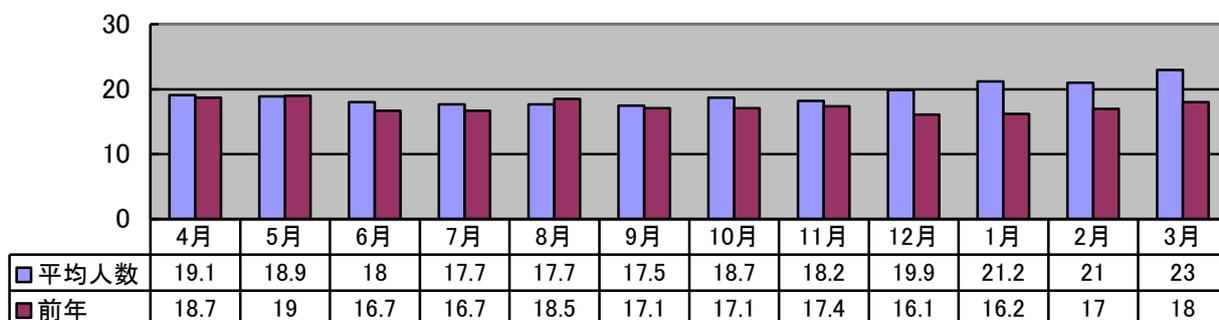
- ① 充足率70%維持及び登録者25名を目指し、経営基盤の安定を図る。
- ② 中重度者戦略計画立案のため、市場調査等(ケアマネや家族対象)を実施し、顧客ニーズを探り、新たなサービスを生み出す。
- ③ 広報戦略を練り、新規顧客獲得を目指す。

前年度より6.4%の増加がある。体験利用推進・デイサービスチラシの影響が強いと思われる。『融通のきくデイサービス』『中重度に強いデイサービス』と周囲からは認知されているようである。

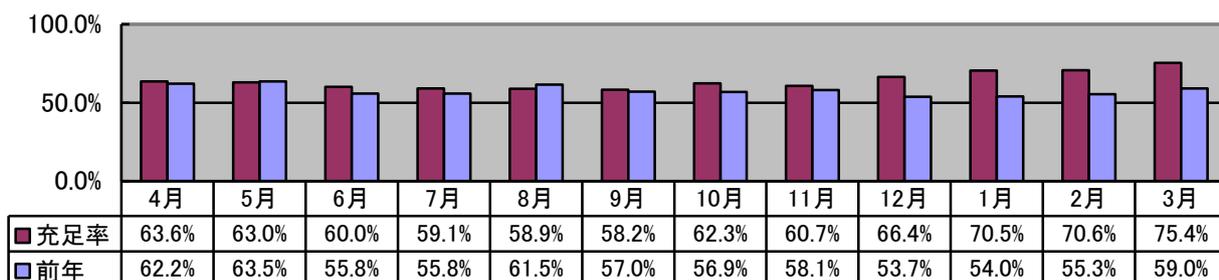
平成28年度別推移



平成28年度月別人数推移



平成28年度月別充足率推移



●主な欠席理由

月	営業日数	体調不良	私用	入院	SS	警報	合計
4月	26日	16	30	3	8	0	57
5月	26日	15	14	8	20	0	57
6月	26日	12	17	37	11	0	77
7月	26日	9	27	28	20	0	84
8月	27日	10	23	23	23	0	79
9月	26日	11	19	19	24	18	91
10月	26日	8	22	20	22	0	72
11月	26日	19	33	23	17	0	92
12月	27日	28	27	17	26	0	98
1月	26日	31	41	21	26	0	119
2月	24日	41	17	15	29	0	102
3月	27日	33	30	9	34	0	106
計	合計	233	300	223	260	18	1,034
	月均	19.4	25	18.6	21.7	1.5	86.2
	割合	22%	29%	21%	25%	0.01%	—

●曜日別年間平均人数等（料金は目安）

	人数	料金	欠席数
月	21.2	196,853	3.4
火	17.8	151,937	5.2
水	19.4	182,659	2.1
木	15.6	143,015	3.5
金	21.1	180,798	3.2
土	20.1	196,867	2.4
平均	19.2	175,355	3.3

●加算等別件数

		前年度	平均	差
個機能訓練加算Ⅱ	人数	1.8	3.9	2.1
	回数	14.2	31.3	17.1
運動機能向上加算	人数	2.3	1.6	-0.8
洗濯サービス	人数	10.9	16.9	6.0
園芸療法	人数	3.6	3.0	-0.6
学習療法	人数	5.7	4.2	-1.5
弁当	人数	3.8	6.3	2.4
	回数	37.9	76.6	38.7

●介護度別年齢別等人数表

平成29年3月31日時点での実人数

要介護度	平成28年度				平成27年度			
	合計人数	男	女	平均	合計人数	男	女	平均
支援1	52	9	43	81.7歳	77	24	53	87.2歳
支援2	99	19	80	86.1歳	160	16	144	88.1歳
1	175	47	128	87.8歳	242	67	175	87.5歳
2	169	76	93	87.3歳	230	69	161	89.2歳
3	182	135	47	83.7歳	169	49	120	87.3歳
4	49	4	45	85.4歳	122	23	99	84.6歳
5	74	19	55	82.5歳	81	45	36	82.7歳
合計	800	309	491		1081	293	788	
平均介護度		2.4	2.3	2.4		2.4	2.0	2.2
平均年齢		83.3歳	87.6歳	85.7歳		82.8歳	88.9歳	87.2歳
最高年齢		99歳	95歳			96歳	101歳	
最小年齢		67歳	68歳			63歳	62歳	

<栄養科>

<実践目標>

①調理の味と質の安定を図る。

A) 全厨房スタッフに分かる献立マニュアルを作成する為のシステムを構築する。

・写真を取り込んだ切り方、作り方マニュアルの作成。

②楽しみ、変化、選択を融合させた食事行事によりゲストに気持ちの『高揚』と『充足』を与える。(ゲストもスタッフもウキウキ、ドキドキ、ワクワクが合言葉)

A) 食事年間行事計画の張り出しと要望の抽出。

調理の味と質の安定をはかるという3カ年計画の1年目であったが、毎日の検食、調理方法の指示、改善メニューの献立への落とし込みは栄養士間で密に連携を取り、行なう事が出来た。現在厨房職員の人員不足から問題が多く発生しているため、まずは栄養士がしっかりと検品を行ない事故の発生を未然に防ぐ様対応を行なうことを優先事項とし、安定した食事を提供したい。また次年度は厨房の問題解決と共に、マニュアル作成を開始できるように努めたい。

行事については誕生日週間など行事食がマンネリ化している現状であるため、次年度は盛り付け方を中心にゲストに喜んで頂ける食事の提供を検討したい。

●年間行事食

月	年間行事	行事食
4月	土鍋ご飯週間	前半は鮭と大根のご飯、後半はツナと塩昆布のご飯とし、フロアで土鍋にて炊き上げた。
	誕生日週間	寿司や色ご飯を日替わりで提供。巻き寿司やちらし寿司は黒皿に盛り付け、色ご飯は花型にかたどって松花堂弁当箱に入れて提供した。

5月	母の日週間	小さいおにぎりの上に具材(えび天・たらこ・ツナマヨ・カニカマ等)をのせ、見た目にも楽しい食事を提供した。
	誕生日週間	色ご飯や寿司を日替わりで提供。松花堂弁当にはゲストが好きな天ぷらやエビフライ等を日替わりでのせ、茶碗蒸しもつけた。
6月	串揚げ	海老・豚・竹輪・サーモン・野菜等の串揚げをフロアでゲストの目の前で揚げ、出来立てを食べていただいた。
	父の日週間	花型色ご飯や揚げ物等を松花堂に盛り付けた。
	誕生日週間	寿司や色ご飯を日替わりで提供。特にアサリの炊き込みご飯やツナとエノキの柚子香りご飯等、いつもと一味違うメニューを提供した。
7月	七夕週間	3色の七夕そうめんや、星形の人参をのせた七夕寿司等、七夕を感じて頂けるメニューを提供することができた。
	誕生日週間	松花堂弁当箱に日替わりで味ごはんや寿司等を入れ、熱々の茶碗蒸しと共に提供した。
8月	からあげバイキング	からあげは塩と醤油の2種とし、揚げたてを食べて頂いた。
	誕生日週間	味ご飯やうどん等を日替わりで提供できた。特にほたてご飯等あまり登場しないメニューを提供することが出来た。
9月	からあげバイキング	9月は火曜日に行い、同様に揚げたてを楽しんで頂いた。
	敬老週間	松花堂弁当箱に日替わりで味ごはんや寿司等を提供した。きのこことアサリの炊き込みご飯はあっさりとしているが、具材のだしが効いていて好評であった。
	誕生日週間	さつま芋ご飯等季節の味ご飯も提供することができた。
10月	からあげバイキング	今回は醤油とカレー味の2種を提供し大好評であった。
	土鍋週間	前半は「ツナと塩昆布」後半は「鮭と大根」の変わりご飯をフロアで土鍋にて提供した。
	誕生日週間	ちらし寿司・巻き寿司や松花堂御膳を提供した。
11月	誕生日週間	いなり寿司・ちらし寿司や旬のきのこを使ったきのこご飯・松たけご飯等を提供した。
12月	からあげバイキング	今回は醤油と塩味の2種を提供した。ポテトフライも提供したが、人気があった。
	クリスマス週間	トマト煮込みやバーグシチュー等、クリスマス仕様の食事を提供することができた。
	誕生日週間	花型寿司を松花堂に詰めて提供。またうどんそばや茶碗蒸しも添えた。
1月	もちつき	フロアでもちつきを実施した。あんこ、きな粉、ずんだあんを提供し、ずんだあんも大変好評だった。
	お好み焼きバイキング	豚・牛すじ・海鮮の3種のお好み焼きを提供した。
	誕生日週間	ちらし寿司やワカメご飯、ばら寿司を提供し、主菜はかき揚げ、コロッケ、フライやすき焼き風煮を提供した。
2月	お好み焼きバイキング	豚・牛すじ・海鮮の3種のお好み焼きを提供した。
	誕生日週間	ほたて炊き込みご飯、きのこご飯等の炊き込みご飯を提供し、主菜にはかき揚げやブリ照り焼きを提供した。
	ひな祭り週間	黒皿に菱寿司とおとそに黒豆を乗せて提供し、色合いが華やかで、お祝いの雰囲気を感じて頂ける様な食事を提供した。

3月	誕生日週間	鮮やかな個人盛りの寿司桶に、三食丼・豚カツ丼・鮭と枝豆ご飯等をのせて提供することで、普段より華やかな雰囲気のご飯を提供した。
	お好み焼きバイキング	豚・牛すじ・海鮮の3種のお好み焼きを提供した。熱々のお好み焼きを、おかわりも出来る様にホットプレートに乗せて提供することができた。

<看護部>

①バイタルチェック

- A) 利用時検温、脈拍、血圧測定を行い体調の確認を行う。
- B) 入浴時の観察を行う。

バイタルサインチェックを的確に行なうことができ、ゲストの様子も把握出来ていた。細かな変化にも注意を払い、状態の悪化にも対応できていた。
 今後も、業務の中でCWとコミュニケーションを図りながら連携強化に努め、ゲストに適切なケアが提供できるように努力していきたい。

<理学療法科>

<実践目標>

『在宅生活機能レベルの維持・向上』

- ①個別機能訓練の充実。
 - A) ケアマネジャー・相談員との連携。
 - B) 在宅訪問にて生活環境の把握・ニーズの抽出。
- ②機能レベル維持・向上が出来るデイサービスセンター作り。
 - A) 軽微な運動を取り入れたレクの提案。
 - B) 不適切なケアの見直し（過剰介助防止）。
- ③在宅生活における相談に対して、適切なアドバイスができる。
 - A) 相談窓口設置等で、相談し易い環境作りを図る。

今年度は制度改正二年目でもあり、特に問題なく機能訓練計画作成・実施する事ができた。訓練を実施するなかで、体調不良（血圧上昇・胸部痛）を訴えるゲストへの対応として、その日その日の実施を中止しているが、結果として長期に渡り訴えが続く事で、レベル低下に繋がってしまうといった例が1件あった。結果、精神的なものからの運動への拒否であった可能性が見受けられていた為、看護職員との連携を図り、レベル低下を起こさせない為の対策を取る必要があると感じられた。また、課題に挙げていた、ゲストの相談に対しての専門的窓口の開設等は、今年度中においても出来なかったが、随時の相談への対応はできており、在宅生活内での助言・アドバイス等は前年度と同様にできている。

5. <<会議の実施内容・反省点>>

①デイ検討委員会

施設長、居宅ケアマネジャー、施設ケアマネジャー、栄養士、相談員、介護職員でデイサービスのサービスにおいて検討を行っている。

②デイ部会

独自で直面している様々な問題点の改善策、行事の検討等を行っている。今年度も事業計画の進捗状況と問題点を中心に話し合いを行ない目標達成へ向け取り組んだ。

6. 《会議の実施内容・反省点》
 7. 《職員会議・OFF-JT》

弥勒園同様

8. 《行事の実施内容・反省点》

●毎月定例行事

行事名
誕生会、理髪サービス、リハビリ体操

●年間行事

行事名	時期	反省
園庭お花見	4/4～9	26名の参加者がおられ、園庭での花見を楽しまれる。テーブルセッティングをし、茶話会のような中で楽しめた。
母の日会	5/4～9	櫛谷で生花されたカーネーションということもあり、人気であった。毎年とても喜ばれる行事の一つである。
買い物ツアー①	5/9～21	10名の方が参加される。玉津マルナカへ行く。参加数は少ない為に、時間いっぱいまで楽しむことができた。
父の日会	6/6～11	18名参加。男性ゲストへコインケースのプレゼント行う。毎年父の日はプレゼント選びが難しいが、今年は例年より喜んでいただけた。
喫茶店へ行く	6/6～11	10名が参加職員と共にゆっくりくつろげる時間を作り和風テイストな場所で喜んでいただいた。「次回もまた行きたい！」と言う声も聞かれている。
七夕週間	7/1～7	恒例行事となっており、多数の短冊を書いて頂いた。ともにホールの飾りつけも行うことができた。
デイサービス夏祭り	8/1～7	間食時、たこ焼きプレートの上で焼くことによって「焼いて提供」を演出できた。「美味しかった。わざわざ焼いてもらって・・・」との声があり、非常に好評であった。その後、ひとりひとりにお菓子の詰め合わせを手渡しし、お土産としても喜ばれていた。
カラオケへいこう！	8/15～20	初めての行事でシダックス伊川谷店へ外出。8名の方が参加される。普段の設備とは格段に違うことから「また行きたい。」との声が聞かれる。しかし、シダックス伊川谷店は閉店となってしまった。車椅子の方も出かける事ができ、楽しめた企画となった。
買い物ツアー②	9/5～10	玉津への買い物ツアーを実施。合計9名の参加者で楽しまれた。
敬老会	9/12～17	恒例行事となっており、ハワイアン・ギター・日本舞踏など慰問に来られ、時間なども問題なく行えた。
秋の外出・UCC コーヒー博物館& 舞子ビラ	10/2～12	UCC コーヒー博物館、舞子ビラに行くことが出来、皆が口々に「来たくても来られない場所。本当に豪華！」と喜んでいただくことが出来た。要介護度の高い方もリクライニングで行くことができてご家族も心から喜ばれていた。

魚べいべい こう！	11/7～14	西神南に新規オープンしたお寿司屋さんへランチ！という企画。参加人数も多く15名が堪能された。
クリスマス 会	12/19～24	「マジックショー」「はずれは誰？」「夢の歌謡ショー」の三部構成により大いに喜んでいただいた。「また来年も見せてな！」と歌謡ショーは声を掛けられており、飛び入り参加などもあり大いに盛り上がる事ができた。
初詣	1/2～8	17名の方が櫛谷諏訪神社へ行かれる。雨天の日があったが問題なく行えた。櫛谷町の方も喜ばれており、以前より念願であったご家族様よりも喜ばれた。
もちつき 大会	1/9～14	恒例のもちつき大会。誤嚥事故なく行えた。今年はずんだ餅を盛り込み、非常に好評であった。毎年他事業所のケアマネジャーよりも「お餅を食べられるのは大慈園だけ。」と喜んでいただけた。
買い物 ツアー③	3/7～19	玉津マルナカへの買い物ツアーを実施。合計9名の参加者で楽しまれた。初めて行かれた方もおり、「今後は毎回買い物に行きたい。」と話されている。

9. 《リスクマネジメント報告》

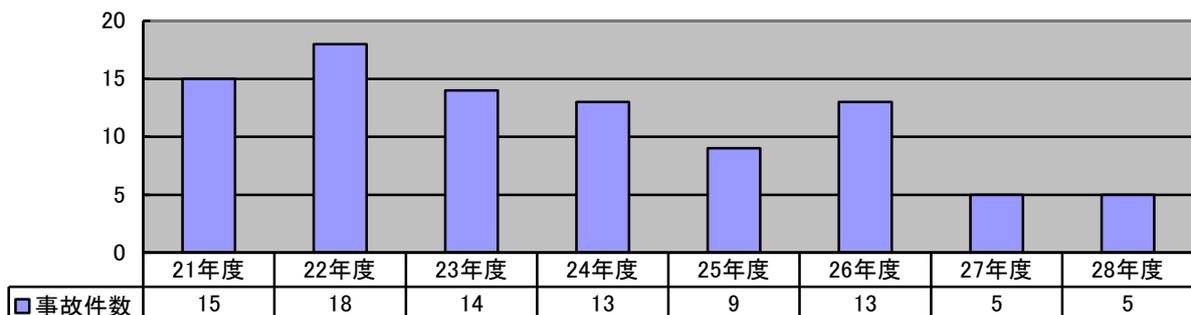
☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

①報告件数・・・ 707件（事故5件、ドキドキ702件）

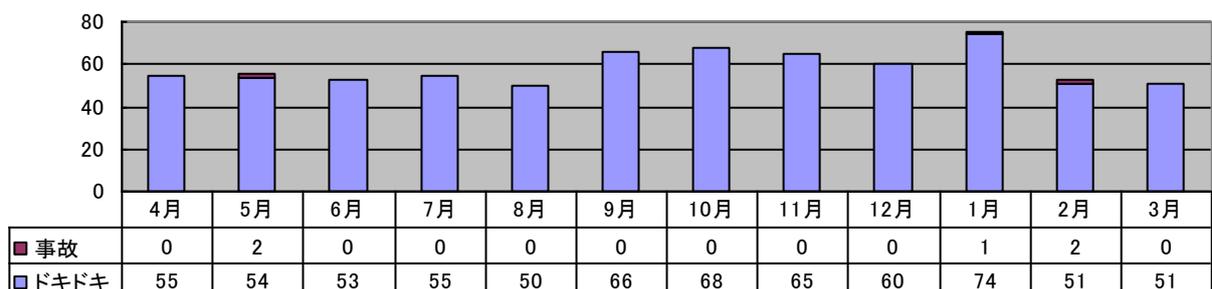
前年度714件（事故5件、ドキドキ709件）

減少傾向を維持しており、表皮剥離等の事故は0件であった。転倒や転落でも大きなけがに繋がっていないので現状維持を継続したい。

<年度別事故件数>

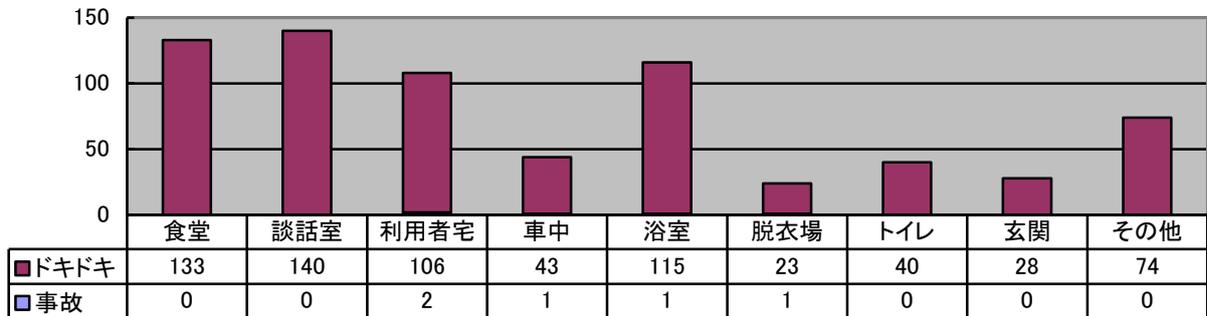


<事故・ドキドキ件数>



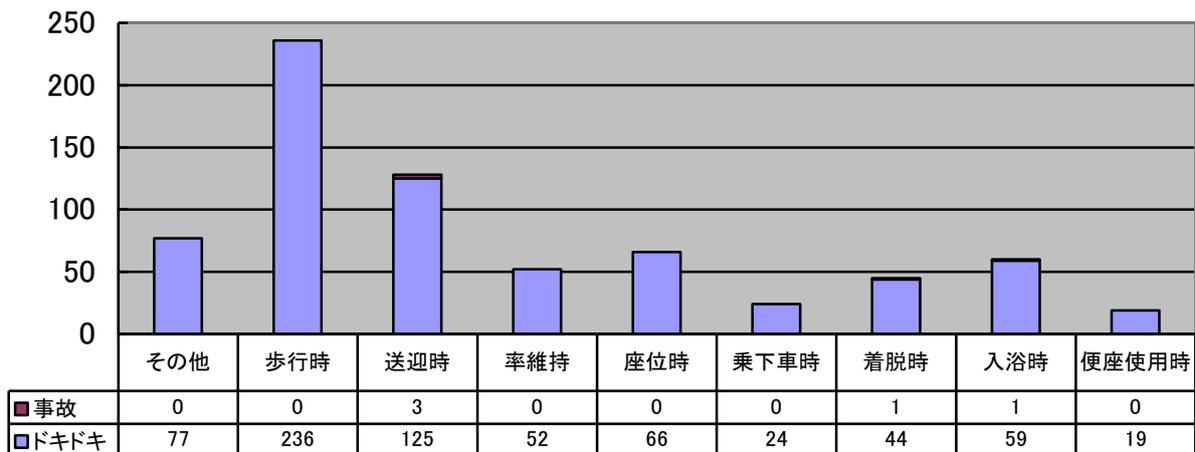
②発生場所別件数

ダイルーム140件・テレビ談話室133件とゲストが過ごす場所が多い。一般浴脱衣所・一般浴室が増加傾向にある。また自宅での件数が二年連続で増加傾向となっており、送迎時の事故が起りやすい傾向になっている。



③発生状況別件数

歩行時が237件と前年度に続き多く報告されている。その他、乗送迎時と続く。送迎時の事故が多くあり、3件となっている。送迎時に関わる時間が多くなりドアtoドア・ベッドtoベッドを多く行っているからと考えられる。



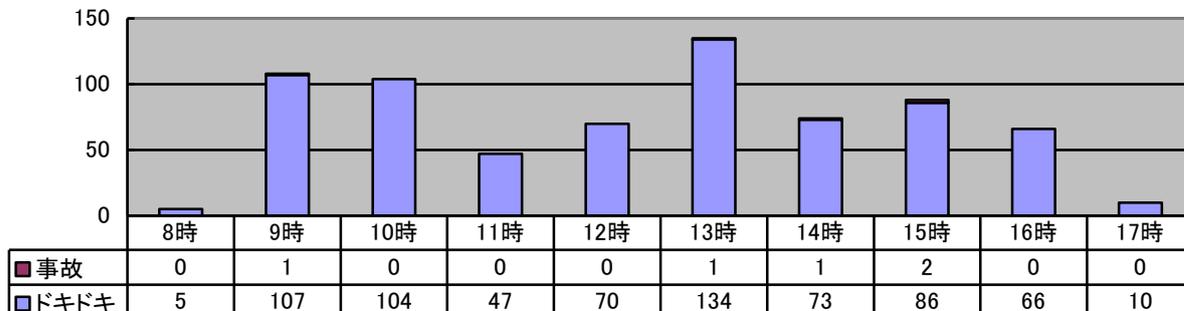
④曜日別件数

月曜日が一番多く報告されている。(前年木曜) 中重度2年目の推移としては自立度が落ちてきており、ゲスト数自体も増えてきているために平均化されていると思われる。



⑤時間帯別件数

ドキドキにおいては13時・9時・10時が多い。前年度に同様、入浴を実施している時間帯に職員が少ない事よっての報告が多い。見守りの手薄な時間帯になる為に報告が挙げられている。事故においては、午後よりの発生件数が多い。入浴時・送迎時など重なる時間帯が傾向として多くある。



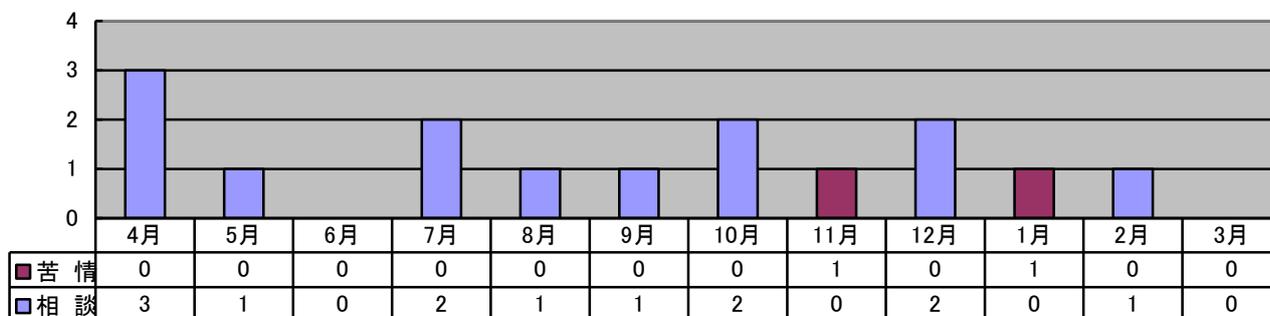
⑥リスク面まとめ

引き続き事故件数5件と減少しており重大事故発生とはならずであった。利用増加に伴い、事故割合を減少させることになり、前年より意識付けできたと考えられる。

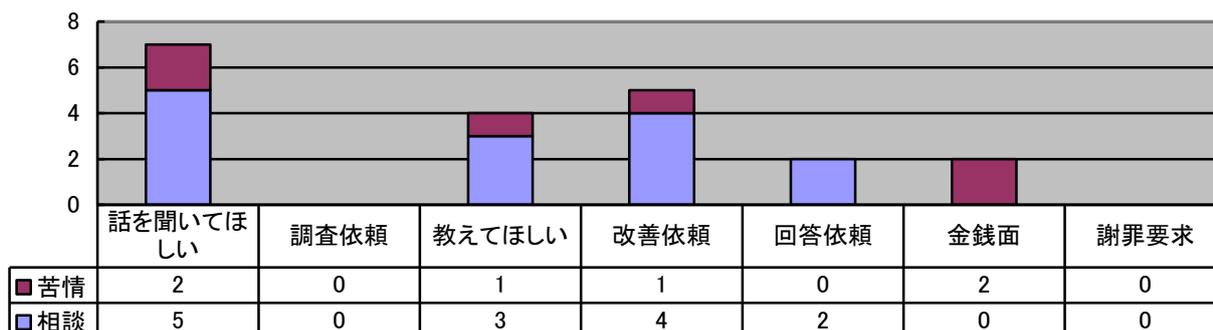
10. 《苦情・相談報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

- ①報告件数・・・15件（苦情報告2件、相談報告13件）
- 前年度・・・15件（苦情報告0件、相談報告15件）



②要望分類



③主な内容

前年度では説明不足などが相談件数として挙がっていたが、今年度も金銭面を兼ねた説明不足があり、増加要因となった。改善依頼も多くあり、声をあまり拾い上げられなかった結果と言える。

④まとめ

新規面接での説明不足における苦情内容が1件あり、面接シート作成し改善に努めた。伝え方や相手の知りたいことを明確にして掘り下げるなど、テーマは多くある。ご家族よりの件数が増加傾向であるのも、映像で説明する事を多く用いる等、サービス内容を分かりやすくする様、努めて行きたいと思う。

1 1. 《総括》

前年度と比較し、後半は問い合わせも多くあり、平均充足率を64%までに引き上げる事に成功した。重度のゲスト・複数利用の獲得が大きな要因となった。営業成果も徐々に上がってきており、初旬より始めた体験利用複数回して頂くことによって、サービスを早く始めることができ、決定までの期間を短縮する事が出来るというアピールポイントを確立することができた。

今後もチラシ配布と共に常に契約率・問い合わせのUPを目指したい。契約率については当年度72%(前年度60%)となっており上昇傾向である。サービス内容としては、中重度向けプログラム内容を模索する一年となった。『ADLの上がるデイサービス』を掲げ、中重度向けのレクリエーションの確立に努めたい。